

日本茶で遊ぶー茶歌舞伎体験

コーヒーや紅茶を飲むときは、コーヒーならモカとかキリマンジャロなど、紅茶ならダージリンやセイロンといったように、産地を見て選んだり、特にコーヒーの場合は、アメリカンとか深煎りとかの焙煎にこだわったりする人がけっこういると思います。特に通でなくとも、これらの単語は聞いたことがあるでしょう。

ところが日本人にとって、もっともなじみの深い日本茶のこととなると、意外と知らない人が多いのではないのでしょうか。お茶のおいしい入れ方は、聞いたことがあっても、茶葉の産地やその製法について意識したことはありますか？

日本茶にだってもちろん産地の土の違いや気候によって、微妙に味が違うのだそうです。また、葉の育て方や、お茶に加工する時の製法でも違いが出てきます。

一口に日本茶といっても、お店に並んでいる袋を見ると、宇治、白川、伊勢、静岡などなど、さらに玉露、かぶせ茶、深蒸し茶、かりがねなど、いろんな名前が付いています。そういった数々のお茶の種類の中から、その時々で自分の飲みたいお茶を選べるようになったら楽しいと思いませんか？

今回はお茶のソムリエ、福壽園の若旦那さんから、日本茶についてのお話を聞きし、聞き茶の遊び、茶歌舞伎を楽しみながら、お茶の味を飲み比べてみたいと思います。会場は国の登録有形文化財にも登録された、起の旧湊屋文右衛門邸を使わせていただきます。

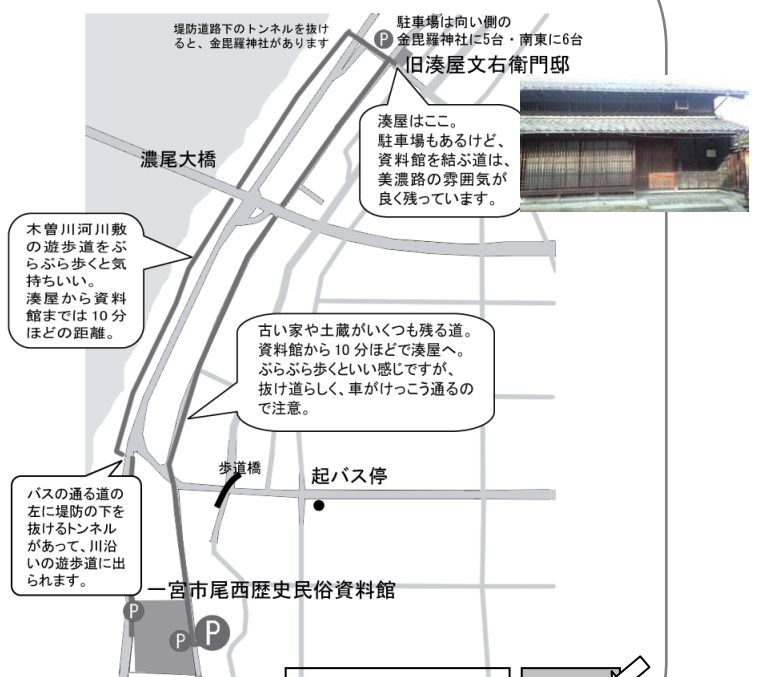


お茶の福壽園の若旦那 大塚登さん

【茶歌舞伎】とは、いわゆるお酒でいう「利き酒」のお茶バージョンです。別名「闘茶」「茶香服」とも呼ばれ、茶の香りや、色、味をみて、お茶の種類や産地を当てるゲームです。南北朝・室町時代に流行し、武士のみならず、公家・僧侶から庶民まで熱狂しました。特に室町時代では、武家の間で大ブームとなり、豪華な金品を賭けるようになったため、足利幕府から禁止令が出されたこともあったそうです。

◆いちのみや大学講座「日本茶で遊ぶー茶歌舞伎体験」

- **日時:** 10月23日(土)午後2:00~3:30(受付1:45~)
- **場所:** 旧湊屋文右衛門邸(丹羽邸)
駐車場 金毘羅神社に5台
湊屋南東の空き地に6台
公共交通機関
名鉄バス起停にて下車、北へ徒歩約10分
- **会費:** 1000円
(お茶と野の花大島八重子さん手作りのおやつ付き)
- **定員:** 20名
- **申し込み:** ホームページから
<http://ichinomiyadaigaku.com/>
インターネットをご利用でない方は、
メールまたは、電話・FAX(0586-72-5445)
でも受け付けます。
(電話は平日の10:00~17:00)
- **申し込み締切り**は開催日前日まで。
キャンセルの場合も前日までをお願いします。



※お問い合わせは、(有)人の森気付け いちのみや大学事務局

TEL:0586-72-5445 メール: info@ichinomiyadaigaku.com までお願いします。

いちのみや大学

検索

いちのみや大学ってどんなもの？

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も38万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

◆参加方法

① いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiya-daigaku.com/> からの申し込み

学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

② インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合

電話/fax 0586-72-5445(平日 10時から17時)

メール info@ichinomiya-daigaku.com でも受付しています。

※受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報をご確認ください。

◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
後藤泰洋&大島誠二 現代アートを語る(会場:織部亭)
ジャズピアニスト、ナタリー成田のアフタヌーン・ミュージックカフェ(会場:織部亭)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場(会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
ネパール料理ってどんなもの?(会場:カレーナンハウス)
- ・歴史学部 江戸時代の一宮の村社会(会場:スポ文)
のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策(会場:葛利毛織)
妙興寺を体感する(会場:妙興寺)
美濃路・起宿と湊屋(会場:湊屋)
尾西繊維協会ビル探訪(尾西繊維協会ビル)
- ・理学部 ブラネタリウムのしくみを知ろう!(一宮地域文化ひろばブラネタリウム館)

◆いちのみや大学のちらしを置かせてもらっている所

織部亭、野の花、さかな、フリークル、市役所(含木曾川、尾西)、ちゃらん家、市民活動支援センター等



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 ~~アートメゾン~~ 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiya-daigaku.com